

I. 目的

「がん診療連携拠点病院等の整備について（健発 0731 第 1 号平成 30 年 7 月 31 日付厚生労働省健康局長通知）」におけるがん診療連携拠点病院の指定要件「PDCA サイクルの確保」に関連して、広島県内の各がん診療連携拠点病院（国及び県指定）のがん相談支援センター業務である「コロナ禍におけるがんサロン」への取組みを、PDCA サイクルを用いて相互評価後、全体討論し、がん相談支援センターが主催する「がんサロン」のあり方について見直し、患者のニーズを発掘の上サポート体制を構築することを目的とする。

II. 対象

広島県内がん診療連携拠点病院（国及び県指定）の 16 施設 がん相談支援センター

III. PDCA サイクル

P（計画）	D（実施）
<ul style="list-style-type: none"> ① 各病院 PDCA サイクル評価シートに計画まで記入し、5 月末までに分科会担当者へ提出（2020 年度部会・研修会にて各病院が計画された内容をもとに作成する） ② 第 1 回部会で分科会担当者は、各病院の PDCA サイクルシートを全病院へ配布する ③ 第 2 回部会にて、各病院の進捗状況報告や困難点などをグループ内で検討する ④ 第 3 回部会にて、相互評価、全体検討・評価 ⑤ 全体検討・評価の内容を協議会に提出 	<ul style="list-style-type: none"> ① 計画通り提出された。 ② 計画通り配布された。 ③ 第 2 回部会のグループワークでは、下半期にがんサロンを計画している病院が多かったことから現状報告及び今後の課題を共有した。 ④ 第 3 回部会のグループワークでは、各病院において実施した内容及び今後の課題、改善点について意見交換した。この度は自己評価のみとし、他者評価は行わなかった。 ⑤ 安佐市民病院が取りまとめ、広島大学病院へ提出した。
C（点検・評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ●他病院の取り組み、途中経過を確認しながら自病院の取り組みに反映させたり、参考にしたりすることができた。 ●自己評価を行うための基準があった方が良かった。 ●オンラインでのサロン実施には環境整備も含めクリアすべき課題も多く、ハードルが高かった。 ●各病院が独自の取り組みを展開しており、コロナ禍でも患者同士のつながりを保てるよう工夫がなされていた。 	
A（改善）	
<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価を行う場合の評価基準を事前に明確にする。 ●取り組み内容については、病院ごとに事情や環境が異なるため、相談支援部会の中で一律に取り組めるような事案について検討する。 	